

大 ～市立小・中学校卒業式～ 切な絆と夢を心に未来への船出

市内小・中学校の卒業式が、3月14日に中学校、3月23日に小学校で行われました。今年度は小学校320人、中学校327人の児童・生徒が卒業。それぞれの学校で、先生や在校生、保護者、地域の方など、多くの方に見送られ、思い出の校舎に別れを告げました。

別府中学校では、中村順人校長が「校訓（向学・友愛・鍛錬）を忘れず、この学校の卒業生だといつでも胸を張って欲しい」と式辞。卒業生代表の吉永葵菟さんが「仲間と歩んできたことを誇りに、夢の実現に向け未来を切り開いていきたい」と話しました。



▲中学校生活で育まれた強い絆でつながる別府中学校 34 人の卒業生。卒業の喜びと感謝の気持ちを込めて「旅立ちの日に…」を合唱しました。

知覧小学校では、種子島潔校長が「ありがとうを声に出し感謝の気持ちを伝え、人との関わりを大切にしながら自分の良さを伸ばして欲しい」と式辞。卒業生は全員で、先生には感謝の言葉を、保護者には「ありがとう。これからもよろしく」と伝えました。



▲第 132 回の卒業生 46 人。6年間の思い出や感謝の気持ちを卒業生全員で伝え、「旅立ちとは未来への船出、夢への第一歩」と話し卒業しました。

新 ～4月1日より市茶銘柄「知覧茶」に統一～ たなる「知覧茶」のスタート

3月16日、市、市茶業振興会、JAいぶすき、JA南さつまの共同記者会見で、知覧茶統一ならびにロゴマークを発表しました。市長は「銘柄統一で国内最大の茶ブランドが誕生し、ブランド力向上を目的にロゴマークを作成した」と話し、市茶業振興会の後藤正義会長が「10年かけて統一できた。市一丸となって流通市場の変化に対応し、海外も視野に販路拡大に努めたい」と語りました。



▲力強い宣言をする三人（写真中央左より室屋翼川辺青年代表、宮原健会長（知覧茶業青年の会）、永山和博会長（頼娃茶業青年の会））。

▼銘柄統一とロゴマークを発表した共同記者会見。左より蔵元市議会議長、後藤市茶業振興会会長、市長、西村仁JAいぶすき組合長、柚木弘文JA南さつま組合長。



また、同日の午後「第9回南九州市茶業振興大会」が、知覧中央保育園児による舞踊と茶育研究発表のオープニングで和やかに開催され、茶業功労者や茶品評会上位入賞者への表彰などが行われました。終盤には「茶銘柄統一による団結、信頼される茶産地づくり、世界に向けた日本茶の情報発信、次世代へつなぐ茶業経営の確立」を大会宣言し、盛大な拍手で採択されました。



▲元氣よく華やかに茶育の研究発表をする知覧中央保育園の園児たち。

待

～南薩縦貫道「知覧道路」開通式～ 望の南薩縦貫道全面開通

3月26日、知覧金山水車インターで南薩縦貫道「知覧道路」開通式が開催。多くの関係者が出席し、知覧無双太鼓暁や川辺高校・知覧中学校合同吹奏楽部の演奏も披露され、待望の全線開通を祝いました。今後、南薩地域のさまざまな面での貢献に期待されます。



▲川辺高校・知覧中学校合同吹奏楽部の演奏に見送られた通り初め式。

部の演奏も披露され、待望の全線開通を祝いました。今後、南薩地域のさまざまな面での貢献に期待されます。

知

～LED映像表示装置贈呈式～ 覧平和公園マルチビジョン

知覧町永里に工場を持つ日亜化学工業（株）よりLED映像表示装置が市に贈られ、3月27日、知覧文化会館で贈呈式が開催されました。この装置は知覧平和公園に設置され、「知覧平和公園マルチビジョン」として、来場者に美しい映像と共に市の情報をお届けします。



▲知覧平和公園マルチビジョンの前に立つ、日亜化学工業（株）と関係者の皆さん。

覧平和公園に設置され、「知覧平和公園マルチビジョン」として、来場者に美しい映像と共に市の情報をお届けします。

ち

～武家屋敷と調和した風景が展望できます～ らんたけのこの里「竹林の道」完成

3月24日、知覧武家屋敷通り南側に整備された“竹林の道”の完成式典が開催。これは、景観保全のため放置竹林を整備している知覧町たけのこ振興会が設置したものです。会長の射手園武也さんは「観光客に散策してもらったり、地域住民の憩いの場となれば」と話しました。



▲式典後、出席者で散策すると子供たちは元氣いっぱい駆け回っていました。

設置したものです。会長の射手園武也さんは「観光客に散策してもらったり、地域住民の憩いの場となれば」と話しました。

組

～「川辺仏壇工芸会館」の落成～ 合創立80周年記念式典開催

3月11日、鹿児島県川辺仏壇協同組合創立80周年・伝統的工芸品指定40周年の記念式典と、展示会場“川辺仏壇工芸会館”の落成式が行われ、展示物や新商品がお披露目されました。原口和秋理事長は「技術存続のため、後継者育成や新商品開発に尽力したい」と話しました。



▲テープカットする原口理事長、三反園県知事、市長。展示会場の見学は組合（0993-56-0240）まで。

新商品がお披露目されました。原口和秋理事長は「技術存続のため、後継者育成や新商品開発に尽力したい」と話しました。

菜

～第16回塗木菜の花まつり～ の花畑が春を告げる

3月12日、知覧町塗木自治会内で「塗木菜の花まつり」が開催。辺り一面に広がる菜の花畑では、毎年恒例のポニーレースやトラクターによる散策が行われ、昼食時には知覧中央保育園児による太鼓や鹿児島市平川の方によるフラダンス、薩南工業高校吹奏楽部の演奏などがまつりを盛り上げました。



▲菜の花の香りを楽しみながらトラクター散策。子どもたちも手を振りうれしそうでした。

昼食時には知覧中央保育園児による太鼓や鹿児島市平川の方によるフラダンス、薩南工業高校吹奏楽部の演奏などがまつりを盛り上げました。

青

～市内各小・中学校にりんごの贈呈～ 森県からりんごの贈り物

3月3日、JA津軽みらいの工藤尚人青果部長らが訪れ贈呈式が行われました。子どもたちの食育とりんごのPRを目的に平成21年以降、市内の小・中学校に贈られています。知覧小学校の橋本桃羽さんが「毎年りんごを届けていただきありがとうございます」とお礼を述べました。



▲工藤青果部長（右端）は「これからもおいしいりんごをお届けします」とあいさつされました。

中学校に贈られています。知覧小学校の橋本桃羽さんが「毎年りんごを届けていただきありがとうございます」とお礼を述べました。

春

～南九州市特産品協会主催～

のうんまかもん市開催

3月19日、「春のうんまかもん市」が、道の駅川辺やすらぎの郷で開催されました。知覧茶、さつまいも、かわなべ牛など、さまざまな地元特産品が販売され、大勢の買い物客で賑わいました。また、お茶の手もみなどの体験コーナーも設けられ、多くの方に好評でした。



▲かわなべ磨崖仏太鼓保存会の演奏がイベントに華を添えました。

大

～ウナギの放流～

きく育てと願いを込めて

3月17日に南九州市頤娃町鰻種苗採捕組合が、頤娃町御領の馬渡川でウナギの放流を行いました。同組合は、資源増殖のため毎年この放流活動を行っています。当日は、九玉小学校6年生の児童たちが「無事に親ウナギに育ってほしい」と願いを込めて大切に放流しました。



▲濱田茂久組合長は「次の世代の子どもたちにもこのような体験をしてほしい」と話しました。

伝

～第5回アグリウォーク～

説を訪ねて早春の道を歩く

3月19日、第5回アグリウォークが開催されました。市内外約200人の参加者が「真田幸村伝説コース」をはじめとする3つのコースに分かれ、アグリランドえいをスタート。地元の皆さんの“おもてなし”を堪能しながら、早春の道を楽しむウォーキングとなりました。



▲雪丸自治会内にある「伝・真田幸村の墓」を訪ねて歩く参加者の皆さん。

百

～木原テルさん（川辺町下山田）～

歳おめでとうございます

3月10日に木原テルさんが100歳のお誕生日を迎えられました。木原さんは助産師の学校を卒業後、病院で助産師の仕事をしながら、実家の農業も行っていました。長生きの秘訣は、早寝早起きの規則正しい生活と、薬に頼らず自身で体調管理をしてきたことだそうです。



▲「家族との会話や畑に行くことが楽しみ」という木原さんを家族と市長がお祝い。

百

～益田ノブさん（川辺町今田）～

歳おめでとうございます

3月14日に益田ノブさんが100歳のお誕生日を迎えられました。益田さんは学校を卒業後、神戸・熊本・鹿児島市に奉公に出て働き、掃除や買い物、料理などを行っていました。長生きの秘訣は、散歩や草むしりなどをして体を動かすことや、好き嫌い無くよく食べることだそうです。



▲益田さんは「読書や散歩、庭の畑の草むしりが楽しみ」と話してくれました。

百

～上野ミキさん（知覧町東別府）～

歳おめでとうございます

3月25日、上野ミキさんが100歳の誕生日を迎えられました。28日、塗木市長が施設を訪問し、家族や施設の皆さんと共に長寿をお祝いしました。踊りと歌が大好きな上野さんに長生きの秘訣を伺うと「農業で体を動かしていたこととハチミツを食べること」だそうです。



▲家族に囲まれて、嬉しそうな上野さん。